高等学校学習指導要領解説数学編第 1 章第 2 節 (2) (実用的な意義) (p.8) から

1 以下の文章の空白を埋めよ。

数学は科学の()と言われる。それは、自然科学の様々な分野で事象が数学的に()し処理されて研究されることを表している。しかし、現在、数学は、自然科学のみならず、()科学や人文科学でも積極的に活用されている。これは、数学が抽象的で()的であることによる。()的であるがゆえにある条件を満たすあらゆる事柄に条件に基づいて得られた()を適用することができ、体系的であるがゆえにその前提となる()が明確でそれを満たすか否かの()がしやすいのである。このような特長により、数学は社会や生活の中で重要な役割を果たしている。例えば、数学で用いられる論理的な表現を身に付けておくことが()の解積では役に立つ。また、等比数列や指数関数についての知識等があれば預貯金や()などの仕組みは理解しやすい。さらに、保険や金融の仕組みを正確に理解したり、()の評価などを的確に行ったりするためには、確率や統計についての数学的な考え方や知識等が必要になる。このように、高等学校で数学を学ぶことは、数学を活用して社会をよりよく生きる()を得ることにつながるのである。

2 内容から解答を導くポイントと考えたことを述べよ。

3 この問題の解答を自己評価し、

気づいたこと、感じたことを述べよ。

■ 5段階自己評価 ()

■